



## 2024年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年5月13日

上場会社名 理研コランダム株式会社  
コード番号 5395 URL <http://www.rikencorundum.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
四半期報告書提出予定日 2023年5月14日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 048-596-4411

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,016	3.8	6	88.4	1		3	93.6
2023年12月期第1四半期	1,056	11.2	54	67.5	57	242.1	43	3.3

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 122百万円 (477.5%) 2023年12月期第1四半期 26百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	3.02	
2023年12月期第1四半期	46.46	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	6,664	4,957	74.4
2023年12月期	6,408	4,862	75.9

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 4,957百万円 2023年12月期 4,862百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		30.00		30.00	60.00
2024年12月期					
2024年12月期(予想)		30.00		30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,095	0.7	61	23.0	69	23.5	49	19.8	54.33
通期	4,250	1.6	153	33.1	173	22.4	122	27.5	135.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	922,128 株	2023年12月期	922,128 株
期末自己株式数	2024年12月期1Q	20,170 株	2023年12月期	20,170 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	901,958 株	2023年12月期1Q	917,233 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、[添付資料]2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

本文の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、足踏みがみられるものの、景気は緩やかに回復しています。設備投資は持ち直しの動きがあるものの、個人消費は持ち直しに足踏みがあります。

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。さらに、令和6年能登半島地震の経済に与える影響に十分留意する必要があります。

このようななか、当社グループの売上については、半導体向けの研磨材の売上が得意先の在庫調整により受注が減少したことから、売上高は1,016,170千円(前年同期比3.8%減)となりました。

また利益面においては、売上高減による粗利の減少に加え、研磨布紙内製品における固定費の負担増、研磨材も円安により輸入単価の上昇が在庫単価の上昇をもたらしたことから、売上原価率が高止まったことから、営業利益は6,177千円(前年同期比88.5%減)となりました。経常損益については外貨建て取引の決済時生じる為替差損や一時的な支払手数料が膨らんだことにより経常損失611千円(前年同期は経常利益56,802千円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については税効果による減算一時差異の増加により法人税等調整額がマイナスになったことから2,722千円(前年同期比93.6%減)となりました。

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

#### (研磨布紙等製造販売事業)

当社グループの中核事業である研磨布紙等製造販売事業の当第1四半期連結累計期間の業況は、前第1四半期連結累計期間において、研磨布紙の商品売上である回転工具の部品やスポンジ素材の研磨商品が一時的に増加し、その売上が消失したことにより減少、半導体向けの研磨材の売上が得意先の在庫調整により受注が減少したことから売上高は827,647千円(前年同期比10.4%減)となり、売上高減による粗利の減少に加え、昨年来の固定負担増や円安による輸入仕入単価増の影響で在庫単価が上昇し売上原価率が上昇したことから、営業損失19,164千円(前年同期は営業利益61,905千円)となりました。

#### (OA器材部材等製造販売事業)

事務機器に組み込まれる紙送り用各種ローラー部品の受注生産をしているOA器材部材等製造販売事業の当第1四半期連結累計期間の業況は、2023年第2四半期期間から受注が回復したことから売上高が増加し124,892千円(前年同期比27.4%増)となり、営業利益は売上増加による粗利増から、29,722千円(前年同期比32.6%増)となりました。

#### (不動産賃貸事業)

イオンリテール株式会社に賃貸しております土地の賃貸収入の売上は、店舗の開店による増収で63,630千円(前期比83.6%増)となり、営業利益は同様に増益で55,874千円(前期比99.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ255,251千円増加し、6,663,699千円になりました。これは主に、当第1四半期連結会計期間の最終月の売上高が増加したことにより売上債権が27,595千円増加、建設仮勘定から建物及び構築物の本勘定へ振替を中心に有形固定資産が54,407千円増加、時価評価等の増加により投資有価証券が162,698千円増加したことによるものであります。

負債は前連結会計年度末に比べ160,386千円増加し、1,707,071千円になりました。これは主に、仕入高の増加による仕入債務が117,917千円増加、投資有価証券の時価評価額の増加により繰延税金負債が43,590千円増加したことによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ94,866千円増加し、4,956,628千円になりました。これは主に、投資有価証券の時価評価の増加によりその他有価証券評価差額金が113,075千円増加したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表いたしました予想と変更はございません。今後も情報収集に努め、業績への重大な影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	963,659	949,529
受取手形及び売掛金	594,480	613,404
電子記録債権	238,327	246,999
商品及び製品	554,487	586,036
仕掛品	487,632	480,268
原材料及び貯蔵品	146,655	141,818
その他	29,421	33,813
貸倒引当金	△3,250	△100
流動資産合計	3,011,412	3,051,769
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,125,134	2,280,305
減価償却累計額	△1,372,622	△1,386,234
建物及び構築物(純額)	752,512	894,071
機械装置及び運搬具	1,757,485	1,790,035
減価償却累計額	△1,364,744	△1,390,896
機械装置及び運搬具(純額)	392,741	399,139
土地	328,763	328,763
建設仮勘定	211,333	107,433
その他	531,371	549,915
減価償却累計額	△422,032	△430,226
その他(純額)	109,338	119,689
有形固定資産合計	1,794,687	1,849,094
無形固定資産	45,233	43,801
投資その他の資産		
投資有価証券	536,617	699,315
長期性預金	1,000,000	1,000,000
その他	20,498	19,819
貸倒引当金	—	△100
投資その他の資産合計	1,557,115	1,719,035
固定資産合計	3,397,036	3,611,930
資産合計	6,408,447	6,663,699

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	338,535	404,456
電子記録債務	319,121	371,117
設備関係支払手形	58,660	12,264
設備電子記録債務	61,557	90,607
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	12,000	18,000
リース債務	19,496	22,847
未払法人税等	3,945	4,359
賞与引当金	—	38,900
その他	180,757	165,722
流動負債合計	1,194,070	1,328,272
固定負債		
長期借入金	38,000	32,000
リース債務	71,045	70,751
繰延税金負債	132,322	175,912
退職給付に係る負債	32,886	22,145
長期預り金	60,752	60,752
資産除去債務	10,000	10,000
その他	7,610	7,240
固定負債合計	352,615	378,799
負債合計	1,546,685	1,707,071
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	89,675	89,675
利益剰余金	4,058,247	4,033,910
自己株式	△48,249	△48,249
株主資本合計	4,599,673	4,575,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	250,661	363,736
繰延ヘッジ損益	△1,623	1,568
為替換算調整勘定	13,051	15,987
その他の包括利益累計額合計	262,089	381,292
純資産合計	4,861,762	4,956,628
負債純資産合計	6,408,447	6,663,699

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,056,237	1,016,170
売上原価	842,455	851,632
売上総利益	213,783	164,538
販売費及び一般管理費	160,196	158,361
営業利益	53,587	6,177
営業外収益		
受取配当金	990	1,215
為替差益	2,823	—
その他	1,156	1,085
営業外収益合計	4,969	2,300
営業外費用		
支払利息	1,206	1,129
支払手数料	—	4,301
為替差損	—	3,256
その他	546	403
営業外費用合計	1,753	9,089
経常利益又は経常損失(△)	56,802	△611
特別損失		
工場再編費用	1,010	—
特別損失合計	1,010	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	55,792	△611
法人税、住民税及び事業税	6,836	4,100
法人税等調整額	6,340	△7,433
法人税等合計	13,176	△3,333
四半期純利益	42,617	2,722
親会社株主に帰属する四半期純利益	42,617	2,722

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	42,617	2,722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,372	113,075
繰延ヘッジ損益	2,309	3,191
為替換算調整勘定	△21	2,936
その他の包括利益合計	△17,084	119,203
四半期包括利益	25,533	121,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	25,533	121,925
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①簡便な会計処理

(i) 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基盤として合理的な方法により算定する方法によっております。

(ii) 繰延税金資産及び繰延税負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

②四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	研磨布紙等 製造販売事業	OA器材部材等 製造販売事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	923,551	98,034	—	1,021,586	—	1,021,586
その他の収益	—	—	34,652	34,652	—	34,652
外部顧客への売上高	923,551	98,034	34,652	1,056,237	—	1,056,237
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	923,551	98,034	34,652	1,056,237	—	1,056,237
セグメント利益	61,905	22,413	28,009	112,327	△58,740	53,587

(注) 1. セグメント利益の調整額△58,740千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	研磨布紙等 製造販売事業	OA器材部材等 製造販売事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高						
顧客との契約から生じる収益	827,647	124,892	—	952,540	—	952,540
その他の収益	—	—	63,630	63,630	—	63,630
外部顧客への売上高	827,647	124,892	63,630	1,016,170	—	1,016,170
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	827,647	124,892	63,630	1,016,170	—	1,016,170
セグメント利益	△19,164	29,722	55,874	66,433	△60,256	6,177

(注) 1. セグメント利益の調整額△60,256千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に連結財務諸表提出会社本社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。